

高病原性鳥インフルエンザの発生に係る防疫措置等の状況について

<基本方針>

- 国の指針に基づき、13日（月）10時（24時間以内）までの殺処分、
15日（水）10時（72時間以内）までの埋却作業完了
- 従事職員の安全・健康確保

1 殺処分の状況

県職員延べ319人を4班体制で動員し、12日（日）10時から目標としている24時間以内の殺処分に当たった結果、同日21時頃に、7,250羽全ての殺処分が完了

2 埋却場所の状況

三戸町宮深山牧場（発生農場から14km）において、県が契約した建設業者が12日（日）22時頃に掘削を完了

3 消毒ポイントの設置

発生農場周辺、半径3km及び10km地点付近の6か所に消毒ポイントを設置し、12日（日）から24時間体制で運用中

4 疫学調査・発生状況確認検査

（1）疫学調査

12日（日）13時30分に国の疫学調査班5名が発生農場に立入り、同日17時で調査終了（調査結果は、後日公表予定）

（2）発生状況確認検査

12日（日）に移動制限区域内1農場の検体を採取し、青森家畜保健衛生所で検査を開始（16日（木）午後判定予定）

5 今後の対応

- (1) 動員された県職員は、鶏舎内のふん等の処理を13日(月)10時頃から開始
- (2) 鶏の死体及びその他の汚染物品(敷料、飼料等)の埋却作業については、13日(月)8時頃から、契約業者が実施する予定
- (3) 発生農場の清掃や消毒を実施し、引き続き、消毒ポイントにおける車両消毒を徹底
- (4) 他の農場に対しても、防鳥ネットの点検や畜舎内外の消毒など、発生防止対策の徹底を指導
- (5) 消費者の不安を払拭するため、ホームページによる情報発信や相談窓口における相談対応も実施するとともに、鶏肉や卵の安全性をPR



2021.12.12 農場内の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



2021.12.12 防疫作業の様子



R03. 12. 12 消石灰散布完了

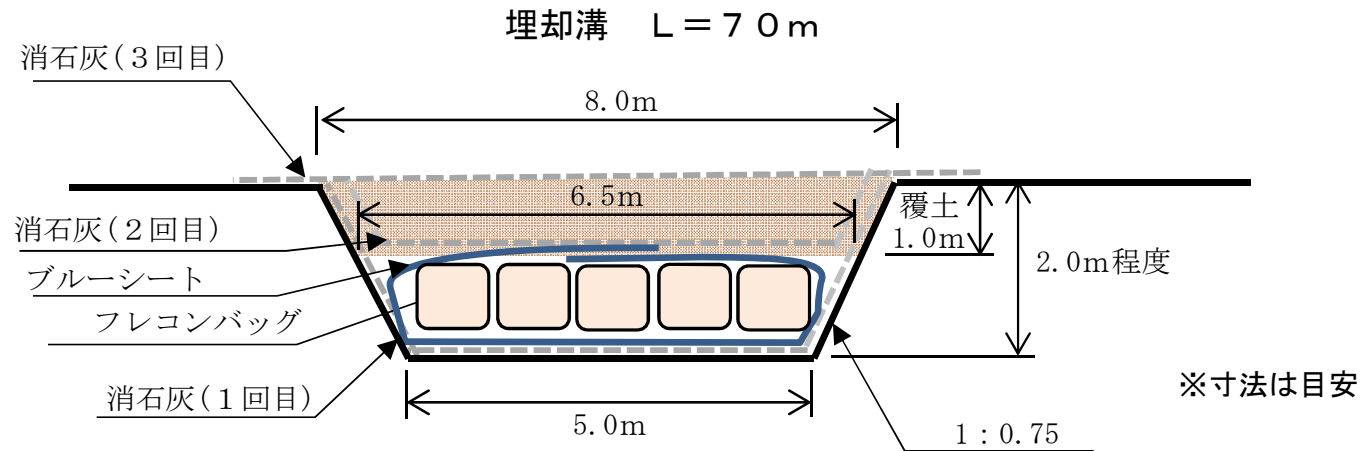


R03. 12. 12 掘削完了



R03. 12. 12 掘削着工前

埋却標準断面図



【作業フロー】

- ① バックホウで掘削
- ② 底面と法面へ消石灰散布（1回目）
- ③ ブルーシート設置
- ④ フレコンバッグ（汚染物）設置
- ⑤ ブルーシートでフレコンバッグの上面を被覆
- ⑥ ⑤の上と法面に消石灰散布（2回目）
- ⑦ 地盤面までの1.0mを覆土
- ⑧ 覆土上面に消石灰散布（3回目）